

町消防出初式

雪の中見事な操法を披露

町消防出初式が1月5日(日)鶴田中学校グラウンドで開催され、各分団員総勢106名が参加しました。

この日は、お年ぶりの大雪に見舞われ、雪の中での出初式になりましたが、各団員による分列行進や規律訓練、ポンプ操法、放水訓練など予定どおり行われました。規律訓練は鶴田分団と柏原分団により行われ、キビキビした行動に参加者も見入っていました。



ポンプ操法を披露する団員

また、恒例となった旭保育園幼年消防クラブの規律訓練では、大園祐樹くんの寒さを吹き飛ばすような元気の良い掛け声に合わせて行われ、参加者からも盛んな拍手が送られました。

さらに、分列行進では、昨年11月に結成された鶴田郵便局の赤バイク消防隊も参加するなど、例年になく出初式となりました。式の最後には永年勤続章など、永年消防団員として活躍された功労者の表彰も行われました。表彰者は次のとおりです。(敬称略)

- 鹿児島県消防協会の部
- 功績章(20年以上)
- 楠木園洋一 満園新一
- 精績章(15年以上)
- 栗野栄進 外園良次
- 岩崎光義
- 勤続章(20年以上)
- 楠木園洋一 満園新一
- 鹿児島県知事の部
- 勤続章(40年)
- 地頭園誠一



分列行進をする赤バイク消防隊

- 勤続章(10年)
- 宮之脇茂樹 上牧瀬政雄
- 塩鶴政秋 赤木満 橋元健二
- 外園忠久 栗野菊男 角平二
- 城下貞吉 下屋敷一人 西田公美 坂元龍司
- 薩摩支部の部
- 勤続章(25年)
- 大庭慶男
- 鶴田町長の部
- 勤続章(10年)
- 永野則雄
- 退団者感謝状
- 柳田信孝 三角芳文 祁答院利秀 松清浩和 栗野廣信 角平二 外園一行 増穂実

町成人式

75人が大人の仲間入り



全員で記念撮影

二十歳の門出を祝う成人式が、1月3日(金)町中央公民館大ホールで開催され、成人を迎えた56人が参加しました。

式典では、町長をはじめ議長、青年団長から祝辞や激励があり、新成人を代表して山之口真弘さんと徳留明加さんが、「これからは大人として責任ある行動をしていきたい。」と二十歳を迎えた決意を述べ、21世紀を担う一員としての自覚と決意を表明しました。

その後、恩師からのビデオレターが上映され、当時の思い出が紹介されるたび

(徳留さんの決意の言葉は生涯学習だよりに掲載してあります。)

また、今回の成人式も、多くの保護者が参加し、振袖や背広姿の成長した子供たちを写真に収めています。

式終了後、姉妹都市である青森県鶴田町の「鶴田焼き」の湯呑みにそれぞれ絵付けを行いました。式に参加した七瀬文代さんは「久しぶりに友達に逢えて懐かしかった。鶴田焼きは、いい記念になります。」と感想を話しました。



鶴田焼きの絵つけをする新成人

シリーズ学校紹介

～ 鶴田中学校 ～



川に親しむ活動の様子

体験的な活動を実施

本校では、「21世紀の共生社会を生きる知・徳・体の調和のとれた生徒を育成する」ために体験的な活動を重視した取り組みを数多く実施しています。その中から三つだけ紹介します。

一つ目は「川に親しむ活動」です。これは、今年から始めた活動で、龍舟祭で使用している「ドラゴンボート」を活用した取り組みです。初めての中学生にとつて10人で

呼吸を合わせてオールを漕ぐのは難しらしく、自然体験を味わうとともに、協力的態度や集中力を養うのに適しています。

二つ目は「ふれあい竹ぼうきづくり」です。今年で2回目の迎える本校の代表的な行事の一つで、高齢者の方々のご指導のもと本町に豊富にある竹を使ったぼうきづくりです。活動の後、生徒会と高齢者とのそばの会食をしながらの交流も特色の一つと言えます。今年1月22日に行われ、大変楽しいひとときを過ごすことができました。

三つ目は「空き缶拾い」です。ポランティア活動の一つで全校生徒で町内の空き缶を拾う活動です。美化意識を高め奉仕の精神を養うとともに、生徒のモラルの向上にも役立っています。

紫尾温泉 神ノ湯落成を祝う



テープカットを行う関係者

紫尾温泉神ノ湯の落成式が12月24日(火)行われました。当日は天候にも恵まれ、紫尾区、町関係者など約70人が参加しました。

式では、中野幸輝紫尾区長が改築までの経過報告の後、「これまでいろいろな苦労もあつたが、関係の皆さんの努力のおかげで、年末年始の営業に間に合わせる事ができました。」とあいさつ、その後、区・町の関係者によりテープカットが行われ、落成を祝いました。

この日は、温泉の無料開放もされ、完成を待ちわびた入浴客が詰め掛けました。